

# 第3回福島実地調査

Because we do not come into this planet simply to develop, just like that, indiscriminately. We come into this planet to be happy. ムヒカ大統領のリオ会議スピーチより



名前 (ふりがな)	丹治 誠 (たんじまこと)
議会 / 選挙区	福島市 / 福島市
期数	2期
生年月日 (年齢)	1966年11月11日 (48歳)
E-mail	tanmako07@gmail.com

福島市議会議員 丹治 誠先生



丹後沢公園

1. 実施日：2016年8月29日（月）～30日（火） 1泊2日

集合時間：8月29日（月） 創価大学正門 8:00

2. 訪問、調査場所

- ・いわき市立平第1小学校
- ・いわき市内の丹後沢公園
- ・福島市内
- ・福島県飯舘村
- ・福島県広野町など

3. 目的

- ・桐山ゼミ卒業生が教諭として勤務する小学校（上記）を訪問し、福島復興の現状と課題を学ぶ。
- ・福島方面における放射性物質の残存状況を調査し、原発事故5年後の実態を学ぶ。

4. 移動：自動車2台

運転：教職大学院教授 桐山信一（普通自動車）  
創価小学校教諭（院生） 大城 威（普通自動車）

5. 費用

7000円程度（昼食2回、夕食2回、宿泊費）

6. 引率学生・院生（承諾書提出者）

4年生8名、院生1名 計9名

1576104 大城 威（教職大学リーダーコース院生・創価小教諭）

1226407 渡部良恵（教育学部4年生）

1227119 森下彩子（教育学部4年生） 29日のみ参加

1326311 大木あゆみ（教育学部4年生）

1327206 古谷美幸（教育学部4年生）

1327424 多胡由希子（教育学部4年生）

7. 測定器など

- ・線量測定器：HORIBAPPA1000、クリアパルス製 A2700
- ・表面汚染測定器：Mirion Technologies 社製 RDS-80
- ・ガンマ線スペクトル測定装置：クリアパルス社製 A2072
- ・その他：録画用ビデオ、デジカメ、ノートパソコン、土壌・水採取用容器 など

## 8 調査事項

### (1) 平第1小学校でお聞きする事項

- ・震災、原発事故当時、様々にご苦労されたこと
- ・現場の先生のご努力、苦闘など
- ・原発事故の学校教育への影響、子どもの健康のことなど
- ・学生に知ってもらいたいこと、伝えてもらいたいこと
- ・復興へのお考え、取り組みなど

…これらから状況に応じていくつかを。

### (2) 宿舎での討議題など

- ・避難地点解除について現状と課題
- ・建設中の焼却場の問題（環境への影響、安全性など）について
- ・国が考える汚染水海洋投棄の是非、汚染土の公共事業使用の是非について

…これらから状況に応じていくつかを。

### (3) 測定内容

#### ①空間線量率測定（土上、1m）

#### ②土壌の表面汚染測定

#### ③試料採取

#### ④できれば測定地近辺での聞き取り

※取得したデータは、教職大学院科目「指導開発理科Ⅱ」の学習、4年生の卒業研究のために用いる。

## 9. 旅程

### (1) 1日目

創価大学正門 8:00 集合

八王子→（中央道、首都高、常磐道）→11時頃 いわき市

→丹後沢公園付近で昼食、公園内測定

→いわき市立平第1小学校へ

〒970-8026 いわき市平字揚土5 TEL：0246-23-1101

聞き取り調査：管理職、養護教諭、担任など、午後 14:30（1～1.5 時間）

司会：梅津 累 教諭（本学教育学部卒業生）

→終了後に福島市・宿泊所へ 19:30 頃

夕食：20 時まで終了

議論：20:00 から 1 時間程度

参加予定者：公明党福島市議会議員 丹治 誠 先生

公明党衆議院議員 真山祐一先生（またはその関係者の方）

(2) 2 日目

福島市→(一般道)→午前中に飯舘村へ、村内測定、聞き取り  
→(一般道)→南相馬 IC→(常磐道)→富岡 IC→(一般道)→富岡町  
→(国道 6 号線)→広野町 J ビレッジ近辺到着、測定、レストラン「アルパ  
インローズ」で休憩  
→(一般道)→いわき中央 IC→(常磐道)→いわき JCT→…八王子

10. 宿泊所：ユースゲストハウス atoma

〒960-2151 福島県福島市桜本字舟石 15-2

電話：024-591-2523

宿泊の詳細(予定)

桐山信一：和室 10 畳 5000 円

大城 威：和室 6 畳 4500 円

男子学生 1 名 洋室 1 人 3000 円ほど

女子学生 6 名 洋室 (3beds) 1 人 3000 円ほど

朝食：700 円

夕食：なし



## 資料1) いわき市（平地区）

### ①「被災地なのに避難者受け入れ」複雑な福島いわき市の現状 清水市長が会見

<https://thepage.jp/detail/20160308-00000015-wordleaf> 2016.03.08 22:50

東日本大震災から5年を迎えることを受け、福島県いわき市の清水敏男市長が8日、東京の外国特派協会で記者会見した。同市は、津波被害や福島第一原発事故の影響を受けるなど被災地でもありながら、多くの避難者を受け入れている。受け入れの経費や制度、住民感情など複雑な現状を語った。

#### ・原発事故後、一時ゴーストタウン化

いわき市は東部が太平洋に面しており、海岸線は60キロメートルある。震災では津波による大きな被害を受けた。死者は関連死も含めて461人。建物損壊は9万棟を越えた。復興の進捗については、高台移転が昨年2月に宅地引き渡し完了、災害公営住宅は今月中に1513戸の建設が完了するといい、「ハード面の復興については早いと自負している」と語った。福島第一原発事故の影響も受けている。いわき市は北部の一部地域が原発から30キロ圏内に入る。清水市長は「当時は市民のだれもが放射性物質がどう広がっていくのかを知らなかった。同心円で広がると思い、『逃げろ、逃げろ』で、街は一時ゴーストタウンと化した」と振り返った。その後、放射性物質が風向きや地形で広がり方が違うことが分かり、現在は「日常の生活できるようになった」（清水市長）。

放射線量は、市内の居住空間については東京と変わらない状況だという。

#### ・避難者受け入れの経費「足りない」。

いわき市は、原発事故による避難指示区域からの避難者らを約2万4000人受け入れている。多くは原発に近い双葉郡の町村からだ。清水市長は「被災地でありながら避難者を受け入れている複雑な状況」と現状を語る。避難者の受け入れには多くの経費がかかる。国からは年間で一人あたり4万2000円の交付金を受けているが、この金額では足りないと指摘する。ごみや水道、学校などの具体的な金額について正確に算出するのは難しいとしたが、国には避難者受け入れ自治体への財政措置を常に要請していると述べた。いわき市に住んでいるものの住民票を移さず、かつての町村のままの状態が続いている人たちもいる。清水市長は「非常時が常態化している」といい、国に現状に即した制度設計を求めた。具体的には、住民票の取り扱いに関して時限立法的な法律をつくり、例えば“二重住民票”などのような方向性を国が示せば自治体としても対応しやすくなるとした。

#### ・もとの市民との共生へ取り組み

もとの市民と避難者との間の軋轢（あつれき）も報じられる。清水市長は「理屈では市民も理解しているが、いわき市民と双葉郡の住民では倍賞や保障に差がある。感情的なものはなきにしもあらず」とおもんばかりの一方、こうした課題に対応するため、双葉郡の首長と定期的に協議していると語った。例えばいわき市に住んでいる間は避難者も自治会費を収めるよう働きかけることを首長に求めたという。「仮の住ま

いなので払えないとなるとコミュニティ自体が成り立たなくなる」と理解を求めた。また、市民と避難者がスポーツや文化・芸術を通して交流できるような施策も行っていった。

## ②丹後沢公園

丹後沢は昔、平城の本丸と二の丸、三の丸の内濠だったところ。今から400年ほど前に後沢という大きな沼の流れを堰き止め内濠にしようとしたが、何度堰を築いても大雨で崩れてしまう。そこで占い師の言葉を信じ人柱をたてた。人柱となったのは、菅波村の95歳の老人・丹後だった。その丹後の願いに沿って名付けられたのがここ「丹後沢」。今では近代的な近隣公園となり、沼の周囲には遊歩道も作られ、市民の憩いの場となっている。

いわき市HPより、行政による公園の放射能測定値を示す。下は中ノ子さんの資料。

都市公園空間放射線量調査結果一覧（測定期間： H25.11.01 H25.11.18 ）

※測定器 …… 富士電機製ハンディサーベイメーター-NHE

### 1. 平地区 (単位: $\mu\text{Sv/h}$ )

公園名	住所	測定日時	天候	測定値①～④公園四隅、⑤公園中心					平均値	備考	
				測定高	①	②	③	④			⑤
1 平中央公園	平字三崎	11/11 11:23	晴	1m	0.17	0.10	0.11	0.20	0.19	0.15	
				50cm	0.16	0.15	0.15	0.21	0.20	0.17	
				1cm	0.17	0.12	0.09	0.18	0.20	0.15	
2 白土公園	平字菱谷町 四丁目	11/11 13:56	雨	1m	0.12	0.15	0.19	0.16	0.18	0.16	
				50cm	0.15	0.21	0.26	0.16	0.21	0.20	
				1cm	0.14	0.25	0.19	0.22	0.21	0.20	
3 吉野谷公園	中央台飯野 三丁目	11/6 10:52	晴	1m	0.15	0.13	0.14	0.13	0.11	0.13	
				50cm	0.23	0.15	0.23	0.10	0.12	0.17	
				1cm	0.24	0.17	0.20	0.12	0.14	0.17	
4 走熊公園	中央台鹿島 一丁目	11/7 10:21	雨	1m	0.13	0.11	0.17	0.17	0.15	0.15	
				50cm	0.13	0.12	0.19	0.14	0.17	0.15	
				1cm	0.09	0.11	0.23	0.20	0.13	0.15	
5 丹後沢公園	平字旧城跡	11/14 13:51	晴	1m	0.14	0.16	0.19	0.15	0.17	0.16	
				50cm	0.13	0.17	0.18	0.20	0.14	0.16	
				1cm	0.15	0.13	0.20	0.18	0.14	0.16	



### ③平第一小学校

平第一小学校は、創立 143 周年を迎えた長い歴史をもつ小学校です。本校は磐城平城跡の一部に位置し、学区は旧平市の繁華街の大部分が含まれています。現在の校舎は、平成 18 年 12 月に完成したとても新しい校舎です。



[http://www.iwaki.gr.fks.ed.jp/?page\\_id=15](http://www.iwaki.gr.fks.ed.jp/?page_id=15)

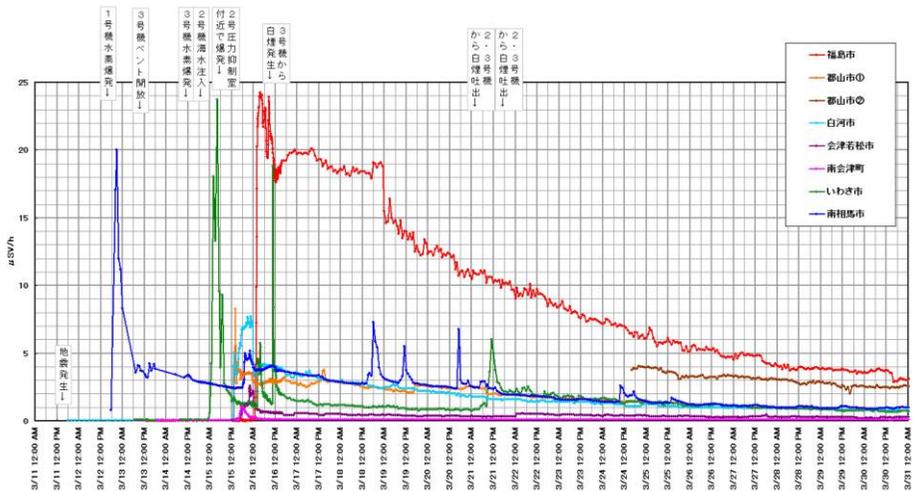


事前に見ておいてください。

### ④いわき市の放射線量

福島県 HP より

事故当時の放射線量の経時変化を示す。3/15 には  $25 \mu\text{Sv/h}$  (通常の 300 倍の値) を示した。また、3/16、3/21 両日は  $6 \mu\text{Sv/h}$  を示した。



## 資料2) 特定避難勧奨地点解除をめぐる問題

①国（原子力災害対策本部）が提示している避難解除条件から  
平成27年6月時点の国の避難解除条件は下記の3つである。

参考2

### 避難指示解除の要件について

（「原子力災害からの福島復興の加速に向けて」改訂）  
（平成27年6月12日原子力災害対策本部決定・閣議決定）（抄）

○避難指示解除の要件（「ステップ2の完了を受けた警戒区域及び避難指示区域の見直しに関する基本的考え方及び今後の検等課題について」（平成23年12月26日 原子力災害対策本部より）

- ①空間線量率で推定された年間積算線量が20ミリシーベルト以下になることが確実であること
- ②電気、ガス、上下水道、主要交通網、通信など日常生活に必要なインフラや医療・介護・郵便などの生活関連サービスが概ね復旧すること、子どもの生活環境を中心とする除染作業が十分に進捗すること
- ③県、市町村、住民との十分な協議

## ②避難指示区域概念図



### ③南相馬市 HP アナウンスより

東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に伴い設定された避難指示区域について、平成 28 年 5 月 27 日、国・県・市の協議の結果、平成 28 年 7 月 12 日に居住制限区域及び避難指示解除準備区域を解除することで合意し、平成 28 年 5 月 31 日、国の原子力災害対策本部会議において、南相馬市内の居住制限区域及び避難指示解除準備区域の解除が正式決定されました。これを受けて、平成 28 年 7 月 12 日午前 0 時をもって帰還困難区域を除く避難指示区域が解除されましたのでお知らせいたします。

### ④地元ではどう報道されたか

福島民報 2016/8/2 より <http://www.minpo.jp/news/detail/2016071232730>

南相馬市で、東京電力福島第一原発から半径 20 キロ圏内の小高区を中心とした地域に出されていた避難指示が、12 日午前零時に解除となった。1 万人以上が避難している同地域については、解除そのものに対する疑問や、時期の問題など紆余 [うよ] 曲折があり、いまだ納得していない避難者もいる。しかし、新たな一歩を踏み出した本日を地域再興の出発点として捉えるなら、まずは復興の基本となる住民の定住に向けた施策への取り組みが急務だ。参院選で大勝した政府与党も積極的に関わり協力する必要がある。

南相馬市が震災から 5 年目を迎えるにあたって実施した「小高区市民意識調査」（全世帯の 4 分の 3 が回答）では、帰還の意向について「戻る」と「条件が整えば」を合わせると 5 割近くが前向きと取れる意思を示していた。一方で、3 割近くは「戻らない」と回答、2 割は「わからない」だった。データからは、避難指示解除を受けて帰還するのは、多くとも震災以前の半数程度と読める。震災から 5 年の歳月は教育や職場、介護問題などで簡単に帰還できない状況をつくり出している。放射線への不安も消えない。（アンダーラインは筆者）

### ⑤批判的意見から一南相馬市 法令の 640 倍の汚染地に戻される住民の悲痛一

女性自身 2016 年 07 月 14 日より

・・・「原発が爆発して、危ないから出ていけと言われ、もう大丈夫だから戻れと言われる。線量が高いからといって戻らなければ、やがて仮設住宅も追い出されて”棄民”ですよ。私たちって、いったい何なんでしょうか」住民から、そんな声も聞こえてきた。前出の川房行政区の区長、佐藤さんは「国が土地を買い上げてくれたら、ここから出たいという住民もいる。若い人が戻らない土地に未来はない。柔軟に考えてほしい」と、引き続き国に対して、土地の買い上げなどを要望していく予定だ。国は昨年 6 月、2017 年 3 月末までに、帰還困難区域を除く避難指示区域をすべて解除すると閣議決定し、そのシナリオどおり着々と進めようとしている。・・・

### ⑥批判的行動から一 20 ミリシーベルトの違法性を問う初の訴訟一

ママレボ [http://momsrevo.blogspot.jp/2015/04/blog-post\\_19.html](http://momsrevo.blogspot.jp/2015/04/blog-post_19.html)

年間 20 ミリシーベルトの基準による避難解除は違法だとして、南相馬市の特定避難

勸奨地点に指定されていた世帯を含む住民 132 世帯 534 名が 4 月 17 日、国（原子力災害現地対策本部）に解除の取り消しや精神的苦痛に対する慰謝料ひとり 10 万円の支払いなどを求めて東京地裁に提訴した。



⑦この問題をどう考えたらよいか—素朴な疑問を糸口に—

- ア) 福島だけなぜ 20mSv なのか？ 一般の追加被曝限度は 1mSv。
- イ) 住民との話し合いは万全であったのか？
- ウ) 土壌汚染の実態とデータは？ 汚染土壌（黒フレコンバッグ）の管理は？
- エ) 40 台より若い人たちの帰還への考え方、動向は？
- オ) 帰還しない人たちへの補償は？
- カ) 帰還者へのインフラ整備は？
- キ) ウクライナとの比較で考えると？（聖教のチェルノブイリ 30 年の教訓などから）
- ク) 未来の人類から評価される人道的対応とは？

## 資料 3) 飯舘村

### ①飯舘村の概要

飯舘村 HP より

<http://www.vill.iitate.fukushima.jp/shoukai/gaiyou.html>

飯舘村は、阿武隈山系北部の高原に開けた豊かな自然に恵まれた美しい村です。総面積 230.13 キロ平方メートルの約 75%を山林が占めた地形は比較的なだからで、北に真野川、中央に新田川と飯樋川、南部に比曽川が流れその流域に耕地が開かれ集落を形成しています。年平均気温は約 10 度、年間降水量 1,300mm 前後で高原地帯独特の冷涼な気候にあります。



- ・平成 23 年 3 月 11 日現在の住民登録人口：6,509 人 6,
- ・平成 28 年 5 月 1 日現在の避難者数：669 人（内訳：県内 6,148 人、県外 521 人）

### ②原発事故でどうなったか

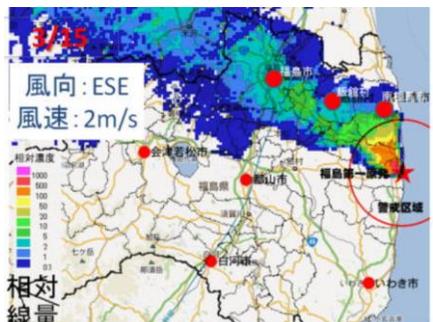
ピープルスニュース HP より <http://www.jimmin.com/htmldoc/143404.htm>

・・・そのうち、原発事故の実態が明らかになります。1号機の爆発（2011年3月12日）も、テレビでは「爆発」とは言わず、「大きな音がしました」という表現でした。しかし、原発から 7.5km の浪江町に住む友人によると、「家が揺れるほどの爆発だった」そうです。14日、3号機も爆発し、放射能が飯舘村を襲いました。夜9時、村の対策本部に行くと、「毎時40 $\mu$ Svを越す放射能汚染で(注:関東では0.07 $\mu$ Sv程度)、とんでもないことになっている」と聞かされました。皆に知らせるために部屋を出ようとすると、担当者は「村長から口止めされている」と言ったのです・・・

3月23日、放射性物質の拡散を予測した模擬計算「SPEEDI（スピーディ）」の結果が、ようやく発表されました。何の因果か飯舘村は、放射能の直撃を受けていました。それでも政府は、原発からの同心円による避難指示の手法を変えませんでしたので、私は報道機関や村執行部に飯舘村の危機的状況を訴え、現実に沿った対応を求めましたが、報道では、その部分だけがカットされました。4月22日になってようやく飯舘村は、計画的避難区域に指定されましたが、1カ月あまり村民は、高濃度汚染に曝され続けたこととなります。

・・・中略・・・

ここで強調したいのは、この間、国・県・農協からの支援は一切なかった、ということです。（アンダーラインと注は筆者）

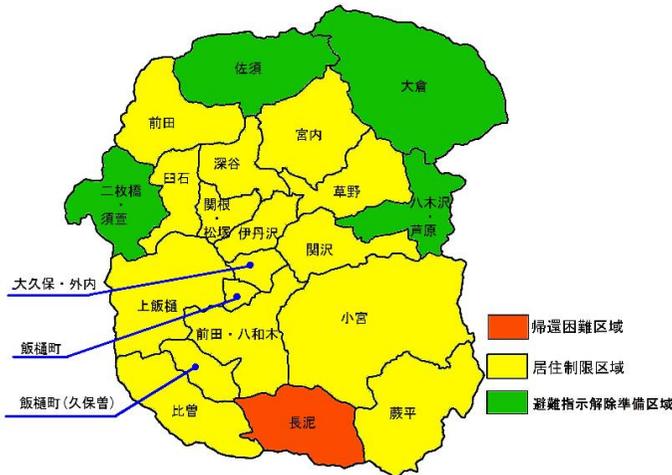


### ③避難指示区域（飯館村全村内）の立入・通過について

飯館村 HP より <http://www.vill.iitate.fukushima.jp/saigai/?p=11892>

- (1) 村は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、全域が避難指示区域に指定され、放射線量に応じて、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に分かれています。
- (2) 居住制限区域及び避難指示解除準備区域については、立入可能です。
- (3) 帰還困難区域については、原則、立入できません。

自動車ルート検索で調べてみると、福島市から飯館村役場（伊丹沢字伊丹沢 580 番地 1）まで、一般道で 36km、約 1 時間である。



### ④飯館村放射能エコロジー研究会（IISORA）第 7 回目シンポジウム 住民の声から

<http://iitate-sora.net/fukushimasymposium/fukushima2016>

村は、村立の幼稚園と小中学校を 2017 年 4 月村内で再開する方針を 10 月に示しました。村長は学校がなくなるという心配をしています。それによって悩んでいるのは親たちです。自分たちが避難先から村に戻れないのに、子どもを再開する学校に入れろと言うわけですから。避難後、幼稚園と中学校は福島市に、小学校 3 校は集約して川俣町に、いずれも仮設校舎を建て、そこに通園・通学しています。村内での学校再開について、村教育委員会が行った保護者の意向調査によれば、「村内に通う」が 62 人、「村外へ通う」が 262 人でした。再開を強行するよりも、安心して暮らせる場所で維持していくべきでないか、と親たちの中で議論がされています。たぶん来春から転校がものすごく進むでしょう。結局、帰村を進めても、高齢者だけの世帯が多くなります。つまり、10 年後 20 年後には村が消滅するという事です。

「復興、復興」と政府は繰り返して、県も村も同様にして、村民を村へ戻そう戻そうとしています。しかし、若者たちは放射線量の高い村には戻りません。そういう状況で、いくらインフラ整備をしても、復興にはならないはずです。

線量データ表 (例) この表に測定値を記入する。

測定値入力欄		[ $\mu$ Sv/h]								
測定日	No	1	2	3	4	5	6	測定時刻	測定場所	1 m or 土
8月1日	例	0.092	0.110	0.098	0.102	0.098	0.106	12:13	第一駐車場	1 m
	1								-	-
	2								-	-
	3								-	-
	4								-	-
	5								-	-
	6								-	-
	7								-	-
	8								-	-
	9								-	-
	10								-	-
	11								-	-
	12								-	-
	13								-	-
	14								-	-
	15								-	-
	16								-	-
	17								-	-
	18								-	-
	19								-	-
	20								-	-
	21								-	-
	22								-	-
	23								-	-
	24								-	-
	25								-	-
	26								-	-
	27								-	-
	28								-	-
	29								-	-
	30								-	-

空間線量率測定方法

- ①測定地点に着いたら1分待つ。
- ②1mの位置に測定器を水平にもち、30秒後ごとに6回測定する。
- ③地上に測定器を置き(紙を敷く)、1分待つ。
- ④30秒後ごとに6回測定する。
- ⑤測定中に、周囲の情報を書き込み写真を撮る。
- ⑥場所を移動し、次の地点に向かう。

土壌・水採取方法

- ①1m値が0.1 $\mu$  Sv/h程度、土上の値が0.6 $\mu$  Sv/hを越える場所の土壌を採取する。
- ②上述で、後者は直接手で触れないよう採取時には特に注意する。
- ③できるだけ1kg採取する。周囲をはばかる場合は0.6kg程度でもよい。
- ④土壌はまずビニール袋に入れ、それをポリボックスに入れる。
- ⑤水はペットボトル(20程度)に入れ、蓋を固く閉めて、ビニール袋に入れる。
- ⑥水に触れた場合、手をよく洗うこと。

移動中の線量データ表（例） この表に移動中の測定値を記入する。

移動中における空間線量測定値								
No	測定値μSv/h			平均値	{ 1m 地上 車中 }	測定場所・生活環境	測定日・時刻	測定器種
例	0.096			0.096	車中	東北自動車道 …あたり	8月30日	①
例	0.102	0.106	0.108	0.106	1m	東北自動車道 久喜IC	8月30日	②
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								

今回の調査では、公明党高木事務所公設秘書 宮口英男氏にお世話いただいています。  
 (高木陽介氏：公明党衆議院議員 経済産業副大臣)  
<http://www.takagi21.com/messages/index.html>



衆議院議員  
高木陽介 Takahiro Takagi

(桐山：多様な声を国会に)



2016.7.29

**福島第一原発を視察**

福島県内（大熊町・双葉町）にて、福島第一原発を視察。凍土壁冷凍プラントや凍土壁追加工事の現場を確認。その後、免震重要棟において「皆様方だけでなく、皆様の家族にも感謝したい。現場の作業員の方がいてはじめて廃炉・汚染水対策の仕事ができる。廃炉は40年かかると言われているが、必ずできる、やり遂げると信じ、取り組んでいく。」と所員を激励した。

真山祐一 公明党衆議院議員（東北のご出身）の facebook から。



衆議院議員 真山祐一  
政治家

飯館村では菅野村長と意見交換の後、役場でレクチャー。いいたていちごランド、特養老人ホームいいたてホームを訪問。幼稚園、小中学校一体での再建や廃棄物処理、介護人材の確保などについて要望をいただきました。

(桐山：帰村できない人の考えも聞いてほしい)